

第 93 回関東学生陸上競技対校選手権大会
要項

- | | |
|------------|--|
| 1. 主 催 | 関東学生陸上競技連盟 |
| 2. 後 援 | 読売新聞社 |
| 3. 協 賛 | サッポロビール株式会社 ミズノ株式会社 敷島製パン株式会社 トヨタ自動車株式会社 |
| 4. 運 営 協 力 | 埼玉陸上競技協会 神奈川陸上競技協会 |
| 5. 期 日 | 平成 26 年 5 月 16 日(金)、17 日(土)、24 日(土)、25 日(日) |
| 6. 場 所 | 【16 日、17 日】
熊谷スポーツ文化公園陸上競技場
熊谷スポーツ文化公園付帯投てき場（1 週目のハンマー投のみ）
【24 日、25 日】
日産スタジアム 日産スタジアム付設ハーフマラソンコース（ハーフマラソン）
日産スタジアム付帯投てき場（2 週目の円盤投のみ） |
| 7. 競 技 種 目 | <男子 1 部・2 部・3 部(大学院・専攻科の部)－23 種目>
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、ハーフマラソン、110mH、
400mH、3000mSC、10000mW、4×100mR、4×400mR、走高跳、棒高跳、走幅跳、
三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、十種競技

<女子 1 部・2 部(大学院・専攻科の部)－22 種目>
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、100mH、400mH、3000mSC、
10000mW、4×100mR、4×400mR、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、
円盤投、ハンマー投、やり投、七種競技 |
| 8. 出 場 資 格 | 1) 平成 26 年度関東学生陸上競技連盟登録者で、本大会出場回数が通算 4 回未
満である者に限る。ただし、別個加盟の大学院の競技者は、学部での出場回
数に関係なく新たに 4 回まで出場できる。
2) 平成 25 年 1 月 1 日(火)より申込期日前日までに別記の標準記録に達した者。
3) 男子は標準記録を設けた種目では、1 校 1 種目 3 名以内(標準記録 A に達し
た者が出場するならば、あと 1 名標準記録 B に達した者が出場でき、標準記
録 A に達した者のいない種目では、標準記録 B に達した者が 1 名出場できる)
と する。なお、出場可能な組み合わせは以下の通りである。
(A・A・A) (A・A・B) (A・A) (A・B) (A) (B)
女子は 1 校 1 種目 3 名以内で標準記録に達した者とする。
4) 400m(含ハードル)までの記録は、電気計時(写真判定装置)で計測したもの
のみ有効とする。
5) 男子ハーフマラソン、男女各 10000mW については標準記録に達した者 1
校 3 名以内とする。
6) 4×100mR、4×400mR は 1 校 1 チームとし、6 名連記できる。
7) 同一人の出場数の制限はない。 |

- 8) リレー種目の参加資格記録は有効期間内であれば前年度登録者が編成メンバーに含まれている記録でも良い。
9. 参 加 料 出場者1種目1名につき2,000円、ハーフマラソン、混成競技は1名につき2,500円、リレーは1チーム3,000円とする。なお、男子3部、女子2部に関しては全種目半額とする。
10. 申込期日及び場所 期日：平成26年5月7日（水）
場所：日本青年館501会議室
11. 申 込 方 法 本連盟ホームページにて申込方法の詳細説明をアップする。説明に従って申込を行うこと。ただし郵送による申込は一切受け付けない。
12. 表 彰 1) 男子1部総合優勝校に総合優勝杯及び総合優勝旗、同2部総合優勝校、同3部総合優勝校に総合優勝杯、女子1部総合優勝校に総合優勝杯及び総合優勝旗、同2部総合優勝校に総合優勝杯、男子1部トラック、フィールド、多種目、同2部トラック、フィールド及び女子1部トラック、フィールド、多種目優勝校にはそれぞれ優勝杯を授与する。
2) 全競技終了後、本大会最優秀選手を男子1部、同2部及び女子1部より各1名選出し、表彰する。
3) 男子1部、同2部及び女子1部の選手権者には優勝杯、3位までの入賞者にはメダル、8位までの入賞者には賞状を授与する。また、男子3部及び女子2部の1位～3位の入賞者には賞状を授与する。
4) 多種目優勝校が複数となった場合は、該当校全てを多種目優勝としてトロフィーは持ち回りとする。
13. 対校得点及び順位 1) 優勝校は、最多得点校1校とする。得点は、男子1部、同2部及び女子1部は、1位8点、2位7点、以下6、5、4、3、2、1点とする（なお、各種目とも決勝は必ず8名以上で行うものとする。また、レースの全部に各自のレーンを使用する種目において、同タイムの者が多くレーンが不足する場合は、写真判定員主任が0.001秒単位の実時間を判定して進出者を決める。それでも決まらない場合は抽選による）。男子3部及び女子2部は、1位3点、2位2点、3位1点とする。最多得点校が2校以上ある時は、各種目で上位入賞者の多い順で決定する。これで決定しない時は男女ともに4×400mRの順位で決定する。
2) 第1項によって、優勝校が1校に決定しない場合は、本連盟評議員会の諮問を経て本連盟幹事会が決定する。
3) 2位以下の順位は得点順とし、同得点の場合は第1項に準じて決定する。これで決定しない場合は、同順位とする。
4) 男子1部、同2部の入れ替えについては、2部優勝校と2位が次年度1部に昇格する。また1部においては下位の2校が2部に降格する。また最下位校が無得点で3校以上となった場合は、その全大学が2部に降格し、同数の2部上位校が1部に昇格する。また、最下位校が同得点で3校以上並び、第3項によっても順位がつかない場合は抽選により2校が2部に降格し、同数の2部上位校が1部に昇格する。

14. 代表者会議 次の通り代表者会議を行う。その場でナンバーカード、プログラムを配付し、確認事項を伝達するので、参加校の代表者は必ず参加すること。
16、17日の競技 5月15日(木) 時間 18:30～ 於：熊谷陸上競技場第1集会室
24、25日の競技 5月23日(金) 時間 18:30～ 於：日産スタジアム301ABC会議室
15. ドーピング検査 1) ドーピングコントロール
国際陸上競技連盟ドーピング防止規則もしくは日本ドーピング防止規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。
2) TUE 申請
禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療目的使用に係る除外措置(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のウェブサイト(<http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。
16. 注 意 事 項 1) トラック種目における不正スタートは1回で失格とする。混成競技においては2回目は誰であろうと失格とする。
2) ハーフマラソンにおいて、周回コースに入ってからその途中で先頭より1周回以上遅れた競技者、または、1時間4分を経過してなお残り1周に達しない競技者はレースを中止させる。先頭とは当該競技者と同一時刻にスタートした者を指し、周回遅れは周回コース離脱点で判定するものとする。ただし、先頭から30番目までの競技者は周回遅れになっても失格とはせず、最後までレースを続行させる。
3) 投てき種目の練習は1人1分以内とする。
4) 競技中の事故に関しては主催者側で応急処置は行うが、その後の責任は一切負わない。ただし、2014年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
17. 連 絡 先 関東学生陸上競技連盟
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-29-9 日本パーティビル4F
TEL：03-5411-1488 FAX：03-5411-1499
MAIL：kgrr@star.odn.ne.jp
(土・日・祝祭日を除く10時～20時)

関東学生陸上競技連盟